PRESS RELEASE

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum

2021年9月22日
福岡アジア美術館

報道各位

バングラデシュ独立５０周年記念

わが黄金のベンガルよ

会期：9月23日（木）～12月25日（土）/福岡アジア美術館・アジアギャラリー

豊かな自然に囲まれ古来より多様な文化を生み出してきたベンガル*の地。今回のコレクション展では、絵画や彫刻など約４０点を展示。激しい独立戦争を経て1971年に建国されたバングラデシュに焦点をあて、生きることへの苦難と喜びが交錯するこの国の美術の５０年をたどります。何卒、広報のご協力をお願いいたします。

*ベンガル・・・インド亜大陸北東部の地方名。インドの西ベンガル州とバングラデシュからなる。

【展覧会タイトルについて】
アジア人ではじめてノーベル文学賞を受賞した、ラビンドラナート・タゴールによって1905年に作詩された歌が「わが黄金のベンガルよ」。ベンガルの大自然を礼賛したこの歌は、後の1971年に「ベンガル人の土地」を意味する「バングラデシュ」の国歌となりました。

BRAC（バングラデシュ農村向上委員会）／アーロン（バングラデシュ）
≪黄金のベンガル≫ 2000年

カムルル・ハサン（バングラデシュ）《女性》1972年

同時開催のコレクション展

アジアの近現代美術 ―１９世紀から現代まで

代表的な所蔵品を中心とした常設展示。５つのコーナーに分けてアジア近現代美術の流れを紹介。

あじびコレクションX「越境する美術家―柳景埰(ユ・キョンチェ)と郭仁植(クァク・インシク)」

2人の美術家による1962年に制作された作品を紹介。彼らの画業を通して当時の日韓の美術状況を振り返ります。

あじびレジデンスの部屋　第３期「寺社を訪ねて」

滞在アーティストたちによる、福岡のお寺や神社に取材した作品と記録を紹介します。

【観覧時間】９:３０～１８:００（金・土曜は２０:００まで）
※ギャラリー入室は閉室３０分前まで
【休館日】水曜日 、１１月４日（木）
※１１月３日（文化の日）は開館、観覧無料
【会　場】福岡アジア美術館７階 アジアギャラリー
【観覧料】一般 ２００（１５０）円、高大生１５０（１００）円
中学生以下無料　　※(　)内は２０人以上の団体料金

【お問い合わせ】
福岡アジア美術館　　学芸課
中尾／ラワンチャイクン
TEL：０９２－２６３－１１０４
FAX：０９２－２６３－１１０５
e-mail:
tomo@faam.ajibi.jp
toshiko@faam.ajibi.jp

福岡アジア美術館は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら開館しております。